

T S・ハイブリッドカー・ファンド

<愛称:トヨタH>

追加型投信／国内／株式

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引き立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

さて、ご投資いただいております「T S・ハイブリッドカー・ファンド」は、2019年3月27日をもちまして満期償還となりました。

当ファンドは、主としてT S・ハイブリッドカー・マザーファンドを通じて、わが国の株式に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

ご愛顧誠にありがとうございました。

作成対象期間 2018年3月28日～2019年3月27日

| | | |
|---------------------|----------------|------------|
| 第10期 | 償還日：2019年3月27日 | |
| 償還日 (2019年3月27日) | 償還価額 | 17,707円60銭 |
| | 純資産総額 | 850百万円 |
| 第10期 | 騰落率 | △ 15.3% |
| | 分配金合計 | －円 |

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

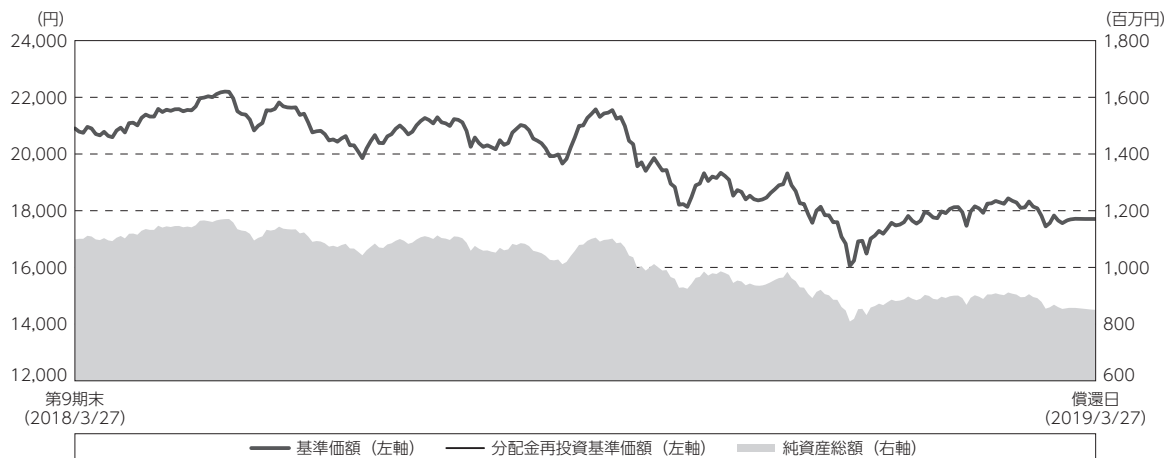
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移（2018年3月28日～2019年3月27日）



期 首： 20,903円

期末 (償還日)： 17,707円60銭 (既払分配金：－円)

騰 落 率：△ 15.3% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。

(注4) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。

(注5) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

主としてT S・ハイブリッドカー・マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、わが国の株式を高位に組み入れた運用を行いました。

個別銘柄では、三菱商事、村田製作所、ノリタケカンパニーリミテド、日置電機、京セラなどがプラスに寄与した一方、パナソニック、ルネサスエレクトロニクス、デンソー、日本電産、信越化学工業などがマイナスに寄与しました。業種では、卸売業がプラスに寄与した一方、電気機器、輸送用機器、化学などがマイナス要因となりました。

1 万口当たりの費用明細 (2018年3月28日～2019年3月27日)

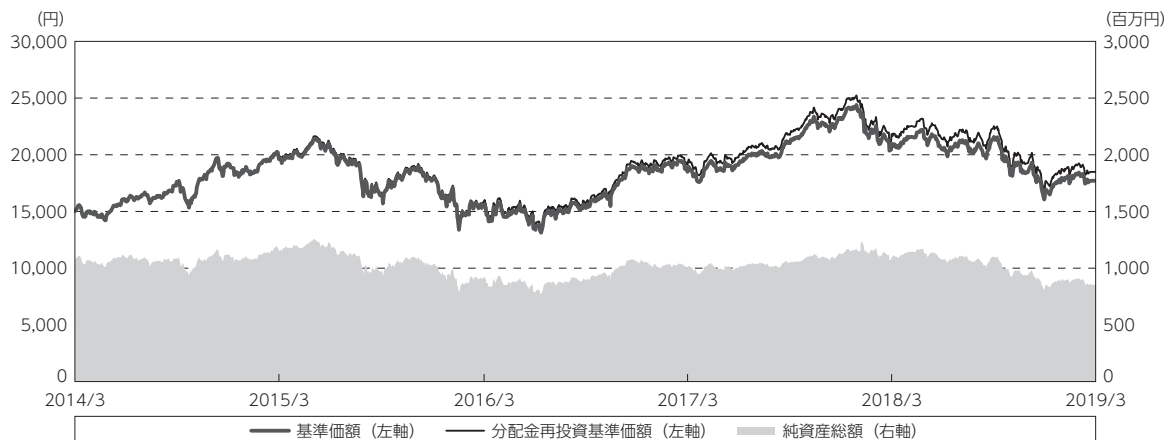
| 項目 | 当期 | | 項目の概要 |
|-----------------------|--------------|------------------|--|
| | 金額 | 比率 | |
| | 円 | % | |
| (a) 信託報酬 (投信会社) | 308 (150) | 1.550 (0.756) | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 |
| (販売会社) | (150) | (0.756) | 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 |
| (受託会社) | (8) | (0.038) | 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価 |
| (b) 売買委託手数料 | 2 | 0.009 | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料 |
| (株 式) | (2) | (0.009) | |
| (c) その他費用 (監査費用) | 0 (0) | 0.001 (0.001) | (c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 |
| 合計 | 310 | 1.560 | |
| 期中の平均基準価額は、19,858円です。 | | | |

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移 (2014年3月27日～2019年3月27日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2014年3月27日の基準価額に合わせて指数化しています。

| | 2014年3月27日 決算日 | 2015年3月27日 決算日 | 2016年3月28日 決算日 | 2017年3月27日 決算日 | 2018年3月27日 決算日 | 2019年3月27日 償還日 |
|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額 (円) | 15,048 | 19,600 | 15,528 | 18,488 | 20,903 | 17,707.60 |
| 期間分配金合計 (税込み) (円) | — | 200 | 200 | 200 | 200 | — |
| 分配金再投資基準価額騰落率 (%) | — | 31.6 | △ 19.8 | 20.4 | 14.1 | △ 15.3 |
| 参考指数の騰落率 (%) | — | 31.9 | △ 11.0 | 10.3 | 12.6 | △ 6.3 |
| 純資産総額 (百万円) | 1,069 | 1,151 | 910 | 991 | 1,098 | 850 |

(注1) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。

(注2) 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示してあります。

(注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

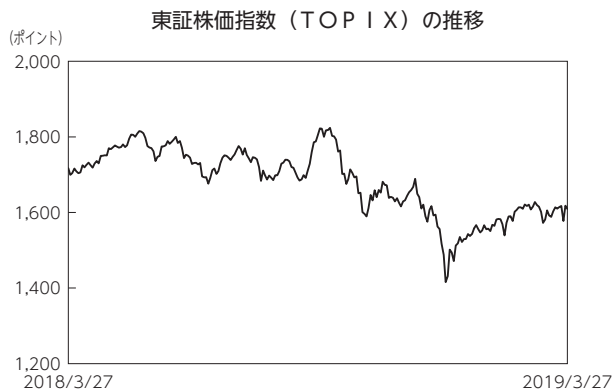
(注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数は東証株価指数 (TOPIX) です。参考指数については後掲の<当ファンドの参考指数について>をご参照ください。

参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。

投資環境（2018年3月28日～2019年3月27日）

国内株式市況を東証株価指数（TOPIX）で見ると、期首に比べ6.3%の下落となりました。

国内株式市場は、売り越しが続いていた外国人が買い越しに転じてきたことなどから上昇して始まりました。2018年6月半ば以降は米国の中間選挙を意識したトランプ政権の動向などにより、乱高下する展開となりました。9月下旬にかけては為替が米ドル高/円安方向に動き始めたことや日米の政治に安定感が増したことから反発したものの、10月以降は、米中貿易摩擦が実体経済に与える影響への懸念や、FRB（米連邦準備制度理事会）のタカ派的な姿勢に対する失望などから、大きく下落する展開となりました。その後FRBのパウエル議長が今後の金融政策に対しハト派的な姿勢を示したことや、米中貿易協議への過度な不安が後退したことなどから期末にかけて反発しました。



ポートフォリオについて（2018年3月28日～2019年3月27日）

●当ファンド

マザーファンドを高位に組み入れた運用を行いました。

●TS・ハイブリッドカー・マザーファンド

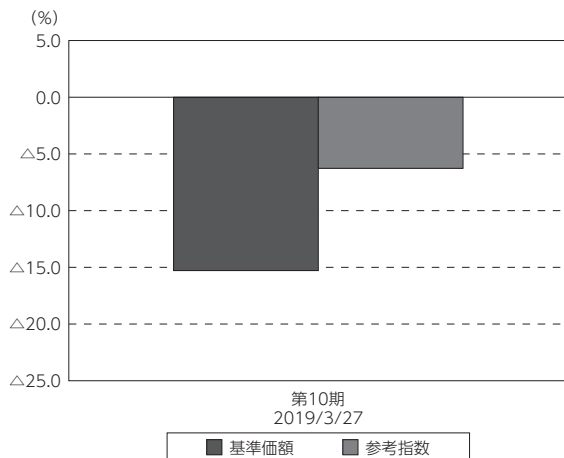
わが国の取引所に上場（上場予定を含みます）されている株式を主要投資対象とし、主にトヨタ・ハイブリッドカーに関連する企業の株式に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。銘柄選定にあたっては、トヨタ・ハイブリッドカー関連ビジネスの恩恵を受ける企業に着目し、業績動向、時価総額、流動性、信用リスク等を総合的に勘案し、ポートフォリオを構築しました。株式の組入比率は、原則として高位とすることを基本としました。

売買については、償還に向けて、2019年3月19日に保有株式を全部売却しました。

■ ベンチマークとの差異について（2018年3月28日～2019年3月27日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。
 グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

【基準価額と参考指数の対比（騰落率）】



償還にあたって

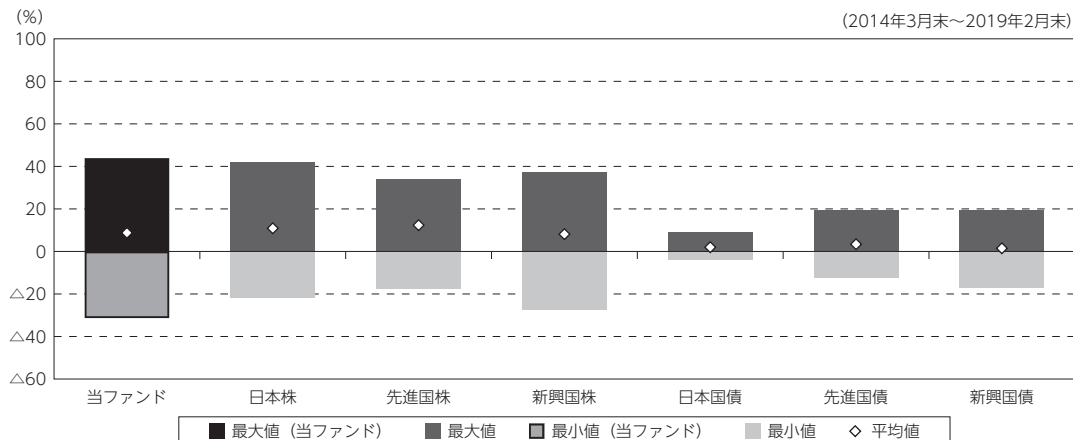
当ファンドは、2019年3月27日に満期償還させていただきました。長年に亘りご愛顧いただき誠にありがとうございました。

ファンドマネージャー 上松 賢治

当ファンドの概要

| | | |
|--------|--|--------------------------------|
| 商品分類 | 追加型投信／国内／株式 | |
| 信託期間 | 2009年3月27日から2019年3月27日までです。 | |
| 運用方針 | 主としてT S ・ハイブリッドカー・マザーファンドへの投資を通じて、わが国の株式へ投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 | |
| 主要投資対象 | T S ・ハイブリッドカー・ フ ァ ン ド | T S ・ハイブリッドカー・マザーファンド受益証券。 |
| | T S ・ハイブリッドカー・ マ ザ ー フ ァ ン ド | わが国の取引所に上場（上場予定を含みます。）されている株式。 |
| 運用方法 | 主としてT S ・ハイブリッドカー・マザーファンドへの投資を通じて、わが国の株式へ投資を行います。株式の実質組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。 | |
| 分配方針 | 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準や市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。 | |

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

| | 当ファンド | 日本株 | 先進国株 | 新興国株 | 日本国債 | 先進国債 | 新興国債 |
|-----|--------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|
| 最大値 | 43.9 | 41.9 | 34.1 | 37.2 | 9.3 | 19.3 | 19.3 |
| 最小値 | △ 31.3 | △ 22.0 | △ 17.5 | △ 27.4 | △ 4.0 | △ 12.3 | △ 17.4 |
| 平均値 | 8.8 | 10.9 | 12.3 | 8.1 | 2.0 | 3.4 | 1.5 |

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2014年3月から2019年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (T O P I X) (配当込み)

先進国株…M S C I コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…M S C I エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…N O M U R A - B P I 国債

先進国債…F T S E 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…J P モルガン G B I - E M グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

各資産クラスの騰落率について

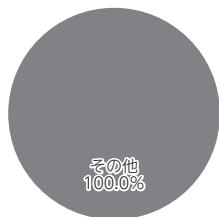
騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに、株式会社野村総合研究所が計算しております。株式会社野村総合研究所及び各指数のデータソースは、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、株式会社野村総合研究所及び各指数のデータソースは、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

当ファンドのデータ

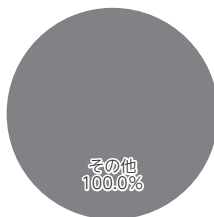
当ファンドの組入資産の内容 (2019年3月27日現在)

2019年3月27日現在、有価証券等の残高はございません。

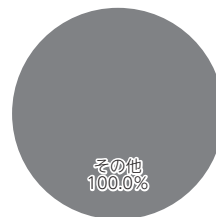
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) その他は、純資産総額から有価証券等を差し引いた数字です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

純資産等

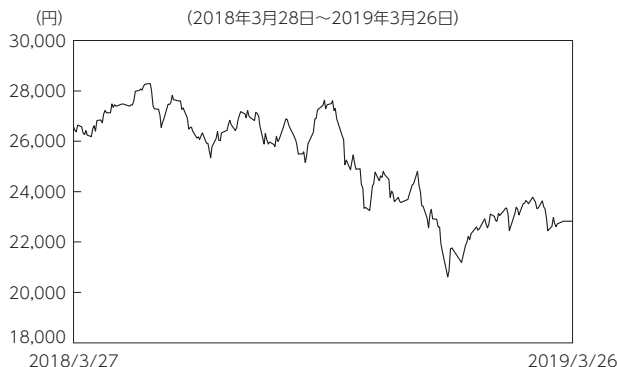
| 項目 | 償還時 |
|------------|--------------|
| | 2019年3月27日 |
| 純資産総額 | 850,436,593円 |
| 受益権総口数 | 480,266,360口 |
| 1万円当たり償還価額 | 17,707円60銭 |

(注) 当期中における追加設定元本額は25,603,449円、同解約元本額は70,986,346円です。

組入ファンドの概要

[T S・ハイブリッドカー・マザーファンド]

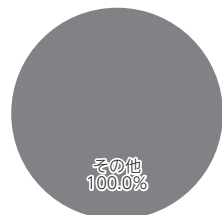
◆基準価額の推移



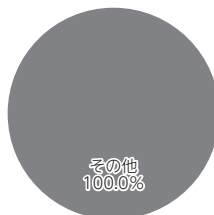
◆組入上位10銘柄

2019年3月26日現在、有価証券等の残高はございません。

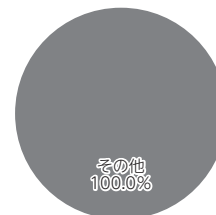
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) その他は、純資産総額から有価証券等を差し引いた数字です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。

◆1万円当たりの費用明細

(2018年3月28日～2019年3月26日)

| 項目 | 当期 | |
|----------------------|----------|------------------|
| | 金額 | 比率 |
| (a) 売買委託手数料 (株 式) | 2 (2) | 0.009 (0.009) |
| 合計 | 2 | 0.009 |

期中の平均基準価額は、25,411円です。

(注1) 上記項目の概要につきましては、運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注2) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注3) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は「1万円当たりのそれぞれの費用金額」（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

<当ファンドの参考指数について>

●東証株価指数（TOPIX）

東証株価指数（TOPIX）は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての銘柄の時価総額を指数化し、株価の変動をとらえようとするものです。東証株価指数は、1968年1月4日（基準時）の時価総額を100として1969年7月1日から株式会社東京証券取引所（以下「㈱東京証券取引所」といいます。）が算出・公表しています。

東証株価指数（TOPIX）は、㈱東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIXの商標に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。

なお、本商品は、㈱東京証券取引所により提供、保証または販売されるものではなく、㈱東京証券取引所は、ファンドの発行または売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

